



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況 (連結)

平成 17 年 2 月 21 日

会 社 名 アンダー株式会社

(JASDAQ ・ コード番号 : 4 6 4 0)

(URL <http://www.andor.co.jp>)

代 表 者 役 職 名 代表取締役

氏 名 森田 聡

問い合わせ先 責任者役職名 取締役営業本部長

氏 名 田中勝俊

(Tel : (03) 5211 - 8011)

1 . 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高 (又はこれに相当する事項) の会計処 理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有 ・ 無

2 . 平成 17 年 3 月期第 3 四半期業績の概況 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日)

(1) 売上高 (又はこれに相当する事項)

	百万円	%
17 年 3 月期第 3 四半期	1,183	(28.5)
16 年 3 月期第 3 四半期	921	()
(参 考) 16 年 3 月期	1,386	()

(注) 1 . 前年の第 3 四半期は四半期決算導入の初年度であるため、前年同四半期の増減率につきましては記載しておりません。売上高 (又はこれに相当する事項) は、当該四半期までの累計値であります。

2 . パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[売上高又は売上高に相当する事項に関する補足説明]

中堅・中小企業を主力ユーザーとするパッケージ関連販売部門の強化、S I 企業の東京コンピュータサービス株式会社及び同グループ各社との連携をさらに強化して大手製造業をターゲットユーザーとして拡大路線を推し進めております。

当第 3 四半期はさらなる積極的な事業拡大のために平成 16 年 10 月にこれまでの関東支社、中部支社、関西支社を関東支店、中部支店、関西支店に改め営業拠点の核としてのきめ細かい営業力の推進をはかっております。

当第 3 四半期までの売上高は、前年同期比 28.5% 増の 1,183 百万円となり、順調に推移しております。

[プロダクト関連販売部門]

永く市場からご支持いただいておりますヒット商品 CADSUPER FX シリーズはじめ、DesignFlow/Extractor, EASYDRAW 等 CAD/CAM 製品においてユーザーニーズをより積極的に取り込んで新たな製品ラインアップの充実に注力しております。

当第 3 四半期には、新製品として違和感無くコマンドを選べ、自分にあった設計画面

へ自由に変更して直感的なオペレーションに仕上げる事ができる EASYDRAW Pro を、また、部品加工及び金型製作の現場向けに実用性の高い 2 次元 CAD/CAM システムで、簡単な操作で短時間に NC データを作成できる CAMCORE EX をリリースし、お客様の要望に応え販売拡大に努めております。

さらに平成 17 年 1 月に EASYDRAW2005 版のリリースに引続き、CADSUPER FX V10 版のリリースも予定しております。

この結果、プロダクツ関連販売部門の売上高は前年同期比 15.4%増の 4 8 0 百万円となりました。

[エンジニアリングサービス部門]

当社は、従来からの CAD/CAM 製品を中心としたプロダクツ関連販売に偏重した売上構造から脱却し、「製造業システム開発のプロ集団」をコンセプトに、「CAD/CAM システムのアンドール」を土台として、製造業の設計・製造分野全般の効率化に貢献する企業に成長しております。

設計・製造システムに係るコンサルティング、受託開発や、3次元 CAD を使った設計、LSI 等の回路設計、組込みソフトウェア開発、光デバイス設計・製造等の各エンジニアの客先常駐請負・派遣及び受託開発を行っております。

当該改革の柱としてエンジニアリングサービス部門は順調に拡大し、全体での比重を高めております。

このエンジニアリングサービス部門が全体売上高の 59.4%を占め前年同期比 39.3%増の 7 0 3 百万円となり、安定的且つ持続的な成長に大きく寄与いたしております。

第 3 四半期の部門別売上高及び対前年同期比伸び率

品 目	百万円 (構成比)		前年同期比伸び率
プロダクツ関連販売部門			
パッケージソフト	3 6 0	30.5%	26.9%
システム商品	4 5	3.8%	2.1%
運用導入サービス	7 4	6.3%	13.5%
小 計	4 8 0	40.6%	15.4%
エンジニアリングサービス部門			
エンジニアリングサービス	7 0 3	59.4%	39.3%
合 計	1, 1 8 3	100.0%	28.5%

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象該当事項はありません。

3.平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	1,700	80	44	849

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上